[参考資料]

1. 原料費調整制度の概要

・原料費調整制度は、LNGとLPGの輸入価格（貿易統計値）の変動に応じて、
毎月、従量料金単価（1㎥あたりの単価） を調整する制度です。

・基準平均原料価格（83,350円／㌧）と平均原料価格（3～5ヶ月前の3ヶ月間のLNGとLPGの輸入価格）の差額100円 につき、
1㎥あたり 0.081円（税抜）調整します。

2. 平均的なガス使用量（31㎥/月）のご家庭のガス料金（2022年10月検針分）

（1）平均原料価格の算定

＜LNG平均輸入価格＞ ＜LPG平均輸入価格＞

110,680（円/㌧） × 0.9576 ＋ 110,320（円/㌧） × 0.0466 ＝ 111,128.080（円/㌧）

⇒ 111,130（円/㌧） ※10円未満を四捨五入

（2）平均原料価格と基準平均原料価格との差額（原料価格変動額）の算定

＜平均原料価格＞ ＜基準平均原料価格＞

111,130（円/㌧） － 83,350（円/㌧） ＝ 27,780（円/㌧）

⇒ 27,700（円/㌧） ※100円未満を切捨て

（3）従量料金単価調整額の算定

＜原料価格変動額＞ ＜消費税率＞

27,700（円/㌧） × 0.081（円/㎥） ÷ 100（円/㌧） × （ 1 ＋ 0.10 ） ＝ 24.6807（円/㎥）

⇒ 24.68（円/㎥） ※小数点第3位以下を切捨て

（4）従量料金単価（税込）の算定（一般ガス供給約款 料金表Bの場合）

＜基準単位料金＞ ＜従量料金単価調整額＞

169.03（円/㎥） ＋ 24.68（円/㎥） ＝ 193.71（円/㎥）

（参 考）2022年9月検針分の従量料金単価との比較

＜2022年10月の従量料金単価＞ ＜2022年9月の従量料金単価＞

193.71（円/㎥） － 186.22（円/㎥） ＝ ＋7.49（円/㎥）

（5）ガス料金（2022年10月検針分、税込）

＜基本料金＞ ＜従量料金単価＞ ＜ガス使用量＞

1,588.88（円/月） ＋ 193.71（円/㎥） × 31（㎥/月） ＝ 7,593.89（円/月）

⇒ 7,593（円/月） ※1円未満を切捨て

以 上